

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	DV等防止啓発事業			シート番号	007-036
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参画推進
			課	評価責任者(課長名)	藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	5	男女共同参画の推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例			
	4	関連計画	・第4期さかい男女共同参画プラン(改定) ・第2次堺市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画(DV防止基本計画)			
5	事業実施の経緯	「ライフクリエイター養成講座」と「暴力防止に向けた人材養成講座」を「男女共同参画推進人材養成講座」として毎年度交互に実施してきたが、平成30年度からは事務事業を再編し、次世代を担う若者がDV等に関する正しい知識を身に付け、被害者にも加害者にもならない当事者意識を高めることを目的に、若年層に対するDV防止等の啓発に重点を置いた「DV等防止啓発事業」としてより効果的な啓発を図った。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	DV・デートDV・性暴力被害等に関して正しく理解し、暴力の被害者にも加害者にもならないための意識啓発を行い、暴力のない社会の実現を図る。また、DV被害者に接する機会が多い相談業務等に携わる市民や職員等を対象に、被害者への適切な対応のしかたを学ぶ機会を提供し、DV被害者への二次的被害の発生を防止し、DV被害者支援体制の充実を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○オレンジ&パープルリボンキャンペーン 子ども虐待の防止と女性への暴力根絶に向けた各種啓発活動を、子ども青少年局と連携して実施 ○デートDV等予防出張セミナー 堺市内の小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校を対象に、専門知識をもつ講師を派遣し、DV・デートDV・性暴力の予防啓発セミナーを実施 ○暴力防止に向けた人材養成講座 DVの実態やDVが起こる要因・背景等を学び、被害者への適切な対応のしかたを学ぶ講座の開催(隔年実施) ○PTA対象のDVIに関する啓発講座 堺市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、支援学校のPTA会員を対象に、子どもたちをあらゆる暴力から守り、被害者にも加害者にもさせないための啓発講座を実施 ○DVIについての庁内職員研修 職員を対象としてDVIについての正しい理解や被害者への迅速な対応を学ぶ研修を開催 ○デートDV等防止啓発リーフレットの配布 デートDV等防止啓発リーフレットを作成し、成人式等で配布 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先					

Ⅲ. 投入量

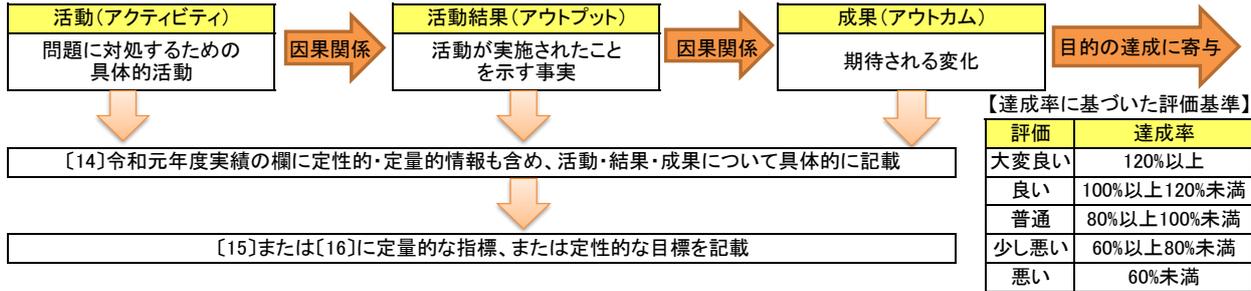
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	千円	0	0	1,855	994	1,368	1,042	1,302	
主な事業費内訳	デートDV等予防出張セミナー	千円	—	—	1,011	337	947	670	947
	PTA向け予防啓発講座	千円	—	—	76	157	77	68	87
	オレンジ&パープルリボンキャンペーン	千円	別事業で実施	別事業で実施	別事業で実施	別事業で実施	106	73	106
	暴力防止に向けた人材養成講座	千円	—	—	—	—	23	23	—
	国・府支出金	千円			1,017	254	358	417	662
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円			838	740	1,010	625	640
12 人件費 (b)	千円	0	0	1,640	1,640	2,430	2,430	2,460	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	3,495	2,634	3,798	3,472	3,762	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	DV等防止啓発事業	シート番号	007-036
-------	-----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>○オレンジ&パープルリボンキャンペーン 各区民まつりで啓発物を配布した。また、11月のキャンペーン期間中は、塚東駅前・市役所前広場での啓発物の配布、市役所エントランスでのパネル展示、懸垂幕の掲揚、公用車へのリボンマグネット貼付、職員の名札へのバッジの貼付、庁内放送・デジタルサイネージを用いた啓発、塚プレイザーズと連携した啓発活動等を行った。様々な媒体や機会を利用し、広く市民に啓発することができた。</p> <p>○デートDV等予防出張セミナー ・テーマ「デートDV」においては、小学校2校・中学校7校・高校6校・専門学校1校・大学1校の合計17校にて18講座を実施し、2,276人の児童生徒が受講した。DVやデートDVには身体的暴力以外にも様々な種類の暴力があること、暴力はいかなる場合であっても許されないこと、また、被害に遭った場合の相談窓口等を紹介した。受講後は95%の受講者がデートDVのことが「よくわかった、少しわかった」と回答しており、暴力の被害者にも加害者にもならない意識の醸成を図ることができた。 ・テーマ「性暴力」においては、高校1校・大学1校の合計2校にて3講座を実施し、379人の生徒が受講した。性的自己決定権や真の同意について学び、実践として護身術を体験した。受講後は95.4%の受講者が性暴力について「理解が深まった、やや深まった」と回答しており、若年層に対する意識啓発ができた。</p> <p>○PTA対象予防啓発講座 市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、支援学校のPTAを対象にデートDV予防啓発講座を実施した。講演テーマは「デートDVの理解とサポート～被害の実際と、わたしたちおとなの役割～」とし、参加者は421人。受講後のアンケートでは、「デートDVについての理解が深まったか」に対し、100%の参加者が深まったと回答し、「虐待や面前DVについての理解が深まったか」に対し、98%の参加者が深まったと回答しており、保護者に対して、暴力防止の啓発をすることができた。</p> <p>○DVIについての庁内職員研修 6月に研修を2回に分けて開催し、2日間合計で42人が参加。参加した職員の多くは、新たに配属された部署でDV被害者と関わる可能性がある職員で、DVIについての知識の習得や、DV被害者の対応の学習に寄与できた。</p> <p>○デートDV等予防啓発リーフレット 成人式にて2,355枚のリーフレットを各区で実施の成人式で配付・配架を行った。リーフレットには、デートDVにあたる行為や相談窓口情報等を掲載し、若者に対してデートDVが身近な問題であることを啓発することができた。</p>						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		デートDV等予防出張セミナー受講者数	人	目標値		1,500	1,600	1,000
				実績値		1,591	2,655	
				達成率		106%	166%	
	評価		良い	大変良い				
	算出方法・設定根拠など		出張セミナーを受講した人数。令和2年度の目標については、新型コロナウイルス感染症の影響により申込数が減少することをふまえて設定。					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		デートDV等予防出張セミナー参加者理解度	%	目標値		—	—	95
				実績値		96	95	
				達成率		—	—	
	評価		—	—				
	算出方法・設定根拠など		本講座の参加者アンケートで、「よくわかった・少し分かった」「理解が深まった、やや深まった」と回答した人の割合。					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	デートDV等予防出張セミナー受講者数	人			1,591
	②	上記①にかかる年間経費	千円			907
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			570
備考(算出についての説明等)		経費はデートDV等予防出張セミナーに係る経費(人件費含む)のみを記載				
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	PTA対象予防啓発講座参加者数	人			306
	②	上記①にかかる年間経費	千円			243
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			794
備考(算出についての説明等)		経費はPTA対象予防啓発講座に係る経費(人件費含む)のみを記載				

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>デートDV等予防出張セミナーにおいては、各学校へ早期に案内することで、カリキュラムに組み入れやすくなり、申込数が増加し、小学生から大学生まで多くの児童生徒に受講いただくことができた。また、年齢に応じた内容とし、社会情勢にあわせてSNSによる身近な事例の紹介したり、生徒自身に寸劇に参加してもらう手法等を実施することで、受講生には自分事として捉えてもらうことができ、大変効果的な啓発ができた。</p> <p>PTA対象の予防啓発講座においても、今現在子どもたちの間で起こっている事例やSNSの危険性を分かりやすく伝え、保護者としてどのように対応するべきか気づきを与えることができた。</p>

- 【分析のチェックポイント】
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	DV等防止啓発事業	シート番号	007-036
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 コロナ禍では、自粛によるストレスや経済的不安からDVが増加している。またDVは児童虐待とも密接な関係にあり、本事業は取組強化を図る必要があるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 PTA対象講座のみ令和2年度は休止。保護者として、子どもが、暴力の加害者にも被害者にもならないよう、何ができるのか学ぶ機会を提供することができない。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 啓発はあらゆる機会を捉えて継続的に実施することが重要であり、効果的な講座にするためには、適切な受講者数での実施が必要であるため、講座数の削減等によるコスト縮減は困難である。令和2年度においては大人数で開催するPTA対象予防啓発講座は休止するが、若年層を対象とした啓発は、暴力の防止のみならずジェンダー平等教育にもつながる非常に重要な取組であることから、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施していく。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 デートDV等予防出張セミナー等の啓発講座においては、会場の広さや受講者数等を考慮し、3密を避ける等、感染防止対策を徹底したうえで開催する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (教育委員会・子ども青少年局) 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 ・オレンジ&パープルリボンキャンペーンでは堺プレイザーズと連携した啓発活動を行っており、出張セミナーにおいては、市が講師謝礼を負担し、民間の専門講師を派遣する等、公民連携を推進している。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、オンラインによる講座を検討する。 ・出張セミナーは堺市内の学校園等を対象としているため、早期に校長会に諮る等、教育委員会と連携することにより効果的な啓発に繋がっている。また、子ども青少年局と連携し、オレンジ&パープルリボンキャンペーンを実施している。 ・内閣府からの通知や国の動向をふまえたうえで、教育委員会や子ども青少年局と連携しながら、本市にとって重要な内容や効果的な手法を検討し進める。 ・他市の取組等を研究し、より効果的かつ効率的な手法を検討する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 DVは児童虐待とも密接な関係にあり、コロナ禍の自粛によるストレスや経済的不安により増加していることから、本事業は、継続的に実施していく必要がある。今後もより効果的な手法や内容を検討しながら、実施する。